

インストラクション・チューニングの戦略

- データ分布のバランスをとる
 - 種類の異なるタスクの比率のバランスをとる
- 事前学習との組み合わせ
 - チューニングを安定させるため、インストラクションチューニングの際に事前学習データを組み込む方法もある

インストラクション・チューニングの効果

- 性能の向上
 - インストラクション・チューニングは少数の例文しか用いないが、LLMの性能を向上したり解除できる重要な方法である
 - モデルサイズに関わらず言語モデルの性能を向上できる
- タスクの汎化
 - LLMの弱点を緩和するのに有用
 - 単一言語のみで調整しても多言語タスクの性能が向上する
- ドメイン特化
 - 医療や法律、金融などの知識を学習させ、あるドメインに特化させたモデルバリエーションを作成可能